

協力会員・両方会員の声



協力・両方会員の方へ、  
会員になったきっかけ  
や、会員になってよかつた  
と思う事などを聞いて  
みました。

協力会員 玉木恵子さん

私はそろそろお役ごめんの年になった会員です。今は送迎だけの活動をしており  
ます。その子ども達に会うことが楽しみになっています。また会うことで元気をもら  
っています。ちっちゃな友達です。もし協力会員になってもと考えていらっしゃる  
方の一つ思うことがあります。他人のお子様と接することで、自分の子どもと接  
する時、しかったりする時などですが、一呼吸おいてから対応することが出来るよ  
うになると思います。一呼吸おくことで言葉も違ってきます。おだやかに話すことが  
出来ると思います。協力会員となり、大きな友達、ちっちゃな友達がいっぱいできたこ  
とが私の財産になったと思っています。友達できるかな…で参加してみてください。

協力会員 柴崎尚子さん

2ヶ月の息子を連れ栃木から里帰りをした娘の一言が「少しの時間でいいから子  
守りしてくれる人がいるといいのに…実家遠いし!」でした。東根にもそう思うマ  
マさん達がいるだろうと思ってた時に、市報でファミ・サポの募集を見て協力会  
員になりました。ファミ・サポまつりに参加し、沢山の親子さんとふれあい、子ど  
も一人一人同じおもちゃでも遊び方が違って、柔軟さに驚かされました。またみな  
さんと遊びたいです。



両方会員 工藤みどりさん

私がファミ・サポを知ったきっかけは、タントクルセンター内に貼ってあったポ  
スターでした。夫婦共に実家から離れていたの、これは便利!と思い、すぐに利  
用会員の登録をしました。当初、子どもを預けるのは、不安や罪悪感が多少ありま  
した。しかし、ある研修で講師の方がおっしゃっていた言葉が今でも心に残って  
います。「子どもは子どもなりに、ファミ・サポの方と人間関係を築くのだ、寂しさ  
を我慢するだけではなく、そこで素晴らしい社会経験を積むのだ」と。それから数年、  
子ども2人は成長し、育児にも余裕ができたので、今度は地域に貢献しようと思  
い、協力会員の登録もしました。センターの職員の方のアドバイスや、様々な勉強会  
を経てコツコツと経験値と自信をつけてまいりました。まだまだ経験は浅いですが、  
子どもたちのキラキラした笑顔が見たくてこの活動を続けております!



他にもたくさんの協力・両方会員のみなさんが活動しています。

活動内容は、習い事や保育施設への送迎、協力会員のご自宅での子どものあずかり等です。  
ライフスタイルを変えなくても大丈夫です。空いている時間に活動してみませんか?

東根市さくらんぼタントクルセンター

利用時間 9:00~18:30  
休館日 毎月第2水曜日(8月は第4水曜日)、1月1日  
WEB <http://www.tantokuru.jp>  
〒999-3796 山形県東根市中央一丁目5番1号  
TEL 0237-43-1155 FAX 0237-41-2232

- 東根市子育て支援センター  
TEL 0237-43-0731
- 東根市ファミリー・サポート・センター  
TEL 0237-43-0732  
メール [popotan@tantokuru.jp](mailto:popotan@tantokuru.jp)
- 遊びセンター(けやきホール)  
TEL 0237-43-0733

# みんな でぎゅ!

さくらんぼタントクルセンターには、子育て支援センター、ファミリー・サポート・  
センター、遊びセンター(けやきホール)の子育て3(SUN)センターがあります。  
各センターが太陽(SUN)のようにあたたかく子どもたちの成長を見守っています。  
「みんな でぎゅ!」は3(SUN)センターとみなさんをつなぐ通信です。

## 東根市子育て支援センター



赤ちゃんが先生

9月9日(月)10日(火)13日(金)の3日間、山形県立東桜学館高校  
を会場に「赤ちゃんが先生」を開催しました。この事業は

- (1) 乳幼児との触れ合い、乳幼児の心身の発達や関わり方について考える
- (2) 子育て中の親の話やきくことで、子どもの健やかな発達を支える親の  
役割について考える

(3) 地域の子育て支援について知る を目的に実施されました。

「赤ちゃんと高校生を触れさせてみたい」「いつもと違う場所に出掛けること  
で自分も子どもも気分転換になりそう」という思いで生後2カ月から1才の  
15組をこえる親子が協力してくれました。



# 「赤ちゃんが先生」

少子高齢化の影響や核家族が増えたことにより、自分の子どもが生まれる前に赤ちゃんのお世話をしたことがない、お母さん・お父さんが多くなっています。

高校生に赤ちゃんを抱っこしてもらうことで命の大切さを実感し、親になった時にこの経験を活かしてほしいと東桜学館高校から依頼があり、9月9日(月)10日(火)13日(金)の家庭科の授業の一環で「赤ちゃんが先生」を開催することになりました。

高校生は「初めて赤ちゃんを抱っこする!」「ドキドキする」と緊張した表情でしたが、赤ちゃんの声や仕草に癒され、距離も縮み次第に笑顔が見られるようになり、赤ちゃんやお母さんに積極的に声をかける姿が見られました。

自分の手と赤ちゃんの手の大きさを比べ「小さい〜!」という高校生に対し「みんなもこの位小さかったんだよ。成長って早いね…。」「どの親も自分の子が一番かわいいと思っているんだよ。みんなのお母さんも同じだよ。」と話してくれるママもいて、高校生は照れ臭そうな表情を浮かべていました。

高校生からは「子育ては大変ですか?」「赤ちゃんは今何を食べているんですか?」など赤ちゃんに関わる質問をきっかけに、女子グループはママと恋愛のこと、男子グループでは学校生活や部活動のことなどを話しママとの交流を深めました。



今回の「赤ちゃんが先生」をきっかけに命の尊さ、温かさ、お座りやハイハイなど月齢により様々な動きをする赤ちゃんの発達の違いなど多くのことを感じてくれていたようです。今回、出逢った赤ちゃん・ママのことを思い出しながら、将来、パパとママになってくれたらうれしいですね。



## ママたちの感想

・「赤ちゃん苦手だったけど今回の経験で好きになった」と言ってもらえた。  
・積極的に子どもと関わってくれて嬉しかった。子どもの目線になり、動くたびについて行って、素敵なパパ・ママになってくれると思います。  
・男子生徒がとても興味を持って積極的に関わってくれて嬉しかった。子どもは可愛いだけでなく妊娠中の大変さや出産のリスク、子育てについて知って、思いやりと想像力を養って責任感のある大人になってほしい。  
・小さな子にも優しい目を向けていました。慣れていなくても積極的に関わってくれました。女の子には母性も備わっていると実感しました。  
・自分が高校生の頃、周りに赤ちゃんがいなくて赤ちゃんに触れ合う機会がなかったの、こういう交流があるのは良い事だと思いました。自分の子どもも家族以外と触れ合うことがなかったので良い刺激になりました。ママ同士の交流もできて良かったです。



# 子どもの頃に夢中になった遊びはなんですか?

● ゴムとび  
小さい時は近所に女の子の遊ぶ人がいなかったの、男の子と遊ぶことが多かったです。小学校に入ってからゴムとびにすごくハマったことを覚えています。家に帰るとおばあちゃんが作ったお手玉で遊び、頑張っても出来ず何度くじけたことか…。今もまだ出来ません。

● ひっこしオニ  
オニが「ひっこしー!」と言ったら指定された場所へ「ひっこす」その間に捕まったらオニになるという遊び。全校数40人程の小さな小学校で、1~6年生みんな遊んでいました。

● 砂遊び  
幼稚園の年長の時に男子だけで、どれだけ高い山を作れるか競いました。「高いねー」「すごいね!」と言われるのがうれしくて熱中した覚えがあります。自分の身体より高い山を作った記憶があります。

● 川遊び  
小学生から高校生くらいまで夏休みはよく近所の川の上流へ遊びに行きました。川岸の岩場に登り、川の深い所に飛び込むことに夢中になりました。川の流れに身を任せのんびり泳いでいると魚たちが足元に寄ってきて一緒に泳いでいるのが面白かったです。

● 小学生の時にみんなですべて遊んでました。小さい子から大きい子まで一緒に遊べて楽しかったです。

● 小学校低学年の頃、体を使って遊ぶのが楽しかったです。特別な道具も必要なく、友だちがいれば出来ることなので、休み時間や放課後は夢中になって遊んでいました。

● 小学生の時にみんなですべて遊んでました。小さい子から大きい子まで一緒に遊べて楽しかったです。

● 小学校低学年の頃、体を使って遊ぶのが楽しかったです。特別な道具も必要なく、友だちがいれば出来ることなので、休み時間や放課後は夢中になって遊んでいました。

● 小学生の時にみんなですべて遊んでました。小さい子から大きい子まで一緒に遊べて楽しかったです。

● 小学校低学年の頃、体を使って遊ぶのが楽しかったです。特別な道具も必要なく、友だちがいれば出来ることなので、休み時間や放課後は夢中になって遊んでいました。

みんな誰でも子ども時代を経験してきました。子ども時代に経験した遊びがその子の育ちにつながり、生きる力になります。そこで今回は、けやきホールに遊びにきているお父さん・お母さん・おじいちゃん・おばあちゃんに、子どもの頃どんな遊びに夢中になったか聞いてみました!



## 「みんな友達の時間」

その日けやきホールにいるみんなが仲間になれるきっかけづくりの時間♪人と人が繋がる楽しい時間をみんなで一緒につくっていきましょう。毎月第1・3土曜日の10時40分~11時まで開催しています。子どもから大人までみんな友達になっちゃおう!

けやきホールで開催している「みんな友達の時間」で、10月は「紹介してもらった遊びにみんなで挑戦してみよう!」を行います。

- 10月 5日(土)「ひっこしオニ」
- 10月19日(土)「ゴムとび」